



埋却作業

鳥インフル防疫 作業2カ所完了

群馬建協前橋支部

群馬県建設業協会前橋支部（泉野高志支部長）による前橋市内の採卵鶏農場2カ所で進めていた高病原性鳥インフルエンザ防疫作業が3日に完了した。年度末に向け工事が最盛期を迎える中、1月18日に陽性を確認した県内2例目

の案件には20社延べ258人、同26日確認の3例目の作業には11社延べ72人が従事した。

協会本部と同支部に対策本部を設置し、2例目は長さ43㍍の埋却溝3本に殺処分された44万7959羽を埋却した。3例目は長さ22・5㍍と長さ20・0㍍の埋却溝2本に5万5057羽を埋却した。

防疫作業に従事した企業は次のとおり（順不同）。

- △県内2例目▽泉野建設▽塩原建設▽鶴川興業▽宮下工業▽松島工業▽阿久澤建設▽稲村建設▽小林工業▽末広産業▽大幸建設▽岩上建設▽大澤組▽三原工業▽佐田建設▽池下工業▽ヤマト▽月白工業▽小野里工業▽堤建設▽橋元興業。
- △県内3例目▽泉野建設▽塩原建設▽鶴川興業▽宮下工業▽松島工業▽稲村建設▽大幸建設▽大澤組▽月白工業▽池下工業▽橋元興業。

前橋2件の鳥インフル防疫作業完了

群馬建協、最盛期の工事中断し対応

支部（支部長・泉野高志 泉野建設代表取締役）の 2例目は埋却溝を3本構 員企業が埋却溝の掘削 築し、殺処分された鳥の や搬送、消毒などを行っ 入った2243袋やえさ 袋などを埋却した。前橋 た。年度末の竣工を控え 支部の20社、累計258 最盛期の現場の工事を 人作業に従事した。 中断し、作業に従事した 3例目は同支部の11 会員企業がいた。

群馬県建設業協会（青 発生通報が1月18日 柳剛会長）が対応してい （2例目）にあった44・ 7万羽と、同26日（3例 前橋市の高病原性鳥イ 目）の5・5万羽の防疫 ンフルエンザの防疫業務 作業を群馬県との防疫協 が3日までに完了した。 定に基づいて実施した。 県内の2例目、3例目と 2例目は同20日、3例目 なるいずれも同市の2件 は同27日に埋却地の掘削 の防疫業務を実施。前橋



社、累計72人が掘削した。 2本の埋却溝に鳥の入っ た276袋などを埋却し た。2件とも3日に仮設 撤去を含め防疫作業のす べての工程を完了させ 群馬建協はこれまでに 9例の豚熱(CSF)の防 疫作業も行っている。 協会幹部は「建設業が 果たしている役割が浸 透することで、防疫作 業従事者の士気向上、 やりがいにつながる」 として、地域を守る建 設会社の活躍を巡る情 報発信を強化すること にしている。

3例目の埋却作業（1月 30日、群馬建協提供）

1月26日に発生した県内で3例目となる鳥インフルエンザについて、群馬県建設業協会前橋支部による防疫作業が3日の夕方、全工程を完了した。公共事業など最盛期を迎える中、会員企業が現場を止めて防疫作業に従事した。規模は5万5057羽となる。

今回の鳥インフルエンザは1月26日に前橋市内の農場から死亡羽数が増加したとの通報があり、27日に高病原性鳥インフルエンザの疑似患者であることを確認、同日に県による殺処分が開始された。倉澤政則農政部長から青柳会長へ防疫作

3日に埋設作業完了 3例目の鳥インフル

群建協および前橋支部

業の協力要請されたことを受け、協会本部と前橋支部に高病原性鳥インフルエンザ対策本部を設置。午後からは埋設予定地の試掘を実施している。

埋却数は1月28日から2月1日までの全4日間でニワトリ276袋、餌46袋、ゴミ69袋、卵6袋、堆肥130台に上った。

防疫作業に従事した企業は◇泉野建設◇塩原建設◇鶴川興業◇宮下工業◇松島工業◇稲村建設◇大幸建設◇大澤組◇月白工業◇池下工業◇橋元興業の11社となる。



埋設処分に対応